

環境報告書 2017



埼玉工場



三光ライト工業株式会社

1. 2017年度版の発行にあたって

三光ライト工業株式会社は、環境方針に従い地球環境問題に対する活動を、私たち企業活動に課せられた社会的使命と認識しています。全ての企業活動において、無駄なエネルギー資源を省き、また廃棄物を減らすことで地球にやさしく、そして製品の中に環境や人に有害な物質を含まないものづくりに努めます。

プラスチック部品製造メーカーとして、トップクラスの技術力、製造力を持ち日本の中で存在価値を持つ会社として社会に貢献してまいります。

通信機器業界においてスマートフォン市場は、海外メーカー品、中国メーカーからのいわゆる格安スマホにシェアを大きく奪われ、国内メーカーの苦境は更に深刻化しています。最近、大手国内メーカーの撤退や外資の傘下となり生産をすべて中国に移し、国内で生産を続けるメーカーは数社となってしまいました。しかし、残ったメーカーは今後も事業を継続していくと考えられます。

当社は、お客様からの要求にしっかりと対応し、受注を拡大してまいります。そのためには、難易度の高い技術に積極的にチャレンジする中で歩留り、生産性改善を両立していきたい。

また当社は、埼玉工場に太陽光発電パネルを設置しました。これにより消費エネルギー低減を図るとともに、廃棄物削減、リサイクル推進の取り組みを今後も推進しコスト競争力強化につなげていきたいと思っております。

お客様要求として環境負荷物質管理体制については、RoHS 指令^(注1)順守そして REACH 規則^(注2)に対応するため、製品含有化学物質管理を維持継続しています。

本報告書はコミュニケーションツールとして、主に 2016 年度（2016 年 8 月～2017 年 7 月）の当社の活動を出来るだけ具体的な数値を用いてまとめたもので、今回が第 13 回目の発行となります。内容の充実とともに当社の活動を分かりやすく表形式にまとめました。当社の環境への取り組みについてご理解をいただく上で、皆様のお役に立てましたら幸いに存じます。

(注1) RoHS 指令：電機・電子機器に含まれる環境負荷物質に関する指令。

(注2) REACH 規則：EUにおける、化学物質の総合的な登録・評価・認可・制限の制度

2. 事業場概要／報告対象範囲

創立：1952年（昭和27年）6月

本社川崎工場 敷地：1,488㎡ 延床面積：3,560㎡
所在地：神奈川県川崎市中原区宮内2-29-1

中原工場 敷地：1,923㎡ 延床面積：3,010㎡
所在地：神奈川県川崎市中原区上小田中6-22-10

埼玉工場 敷地：5,495㎡ 延床面積：2,864㎡
所在地：埼玉県深谷市西田96番地

敷地：9,877㎡ 延床面積：4,882㎡
所在地：埼玉県深谷市西田459番地5

総従業員数：134人 [2017年7月末現在]

事業活動：事業活動：プラスチック成形用金型の設計・開発及び製造並びに携帯電話機、小型家電製品、車載AV機器、日用品及び食器用プラスチック成形加工品の製造

報告対象範囲

対象期間：2016年8月～2017年7月

対象事業場：三光ライト工業株式会社 国内3工場

一関工場は2013年9月より、一関三光(株)として新発足いたしました。

3. 環境方針

[理念]

三光ライト工業株式会社は、地球環境の保全が、人類共通の重要課題であることを認識し、地球環境並びに地域環境の改善に継続的そして地道に取り組みます。

[方針]

三光ライト工業株式会社は、プラスチック成形加工品を、金型設計製作・成形加工・塗装・印刷・組立てと一貫生産する企業として企業活動と地球環境保全との共存を図るため、環境関連法・規則・条例及びその他の要求事項を順守すると共に、地球環境並びに地域環境の汚染予防のため、継続的な改善努力を、全社員総力をあげ取り組みます。

環 境 方 針

【理念】
三光ライト工業株式会社は、地球環境の保全が、人類共通の重要課題であることを認識し、地球環境並びに地域環境の改善に、継続的そして地道に取り組みます。

【方針】
三光ライト工業株式会社は、プラスチック成形加工品を、金型設計製作・成形加工・塗装・印刷・組立てと一貫生産する企業として、企業活動と地球環境保全との共存を図るため、環境関連法・規則・条例及びその他の要求事項を順守すると共に、地球環境並びに地域環境の汚染予防のため、継続的な改善努力を、全社員総力をあげ取り組みます。

1. 地球温暖化防止のため、電力等のエネルギー削減を推進する。
2. 天然資源保護のため、設計段階から、成形材料をはじめ、塗料及び印刷工程で使用する溶剤・溶剤の削減に向けて、取りまく努力する。
3. 環境に関する法・規則・条例及び環境負荷物質管理の取組みを含むその他の環境に関する要求事項を順守すると共に、環境負荷を削減すべく努力する。
4. 環境方針を達成するため、技術的・経済的に可能な範囲で、環境目的及び目標を定め、実施すると共に、適宜見直しを行う。
5. この方針は、全従業員及び当社のために働くすべての人に周知徹底する。

この環境方針は、社内外に公開する。

2015年11月
三光ライト工業株式会社
代表取締役 **永峰 大三**

4. 環境マネジメントシステム

当社は国際規格ISO14001に基づき、「環境マネジメントシステム」を構築しています。システム認証はマルチサイト（本社工場、中原工場、埼玉工場、一関工場）でJQAより2005年1月に取得しました。しかし、一関工場が分離独立のため、関連事業所は3工場（本社、中原、埼玉）へ2014年1月に登録更新しています。

また、当社のISO外部審査は、品質（9001）と環境（14001）の複合審査を行っています。そのため登録更新日は、複合審査日程に合わせています。

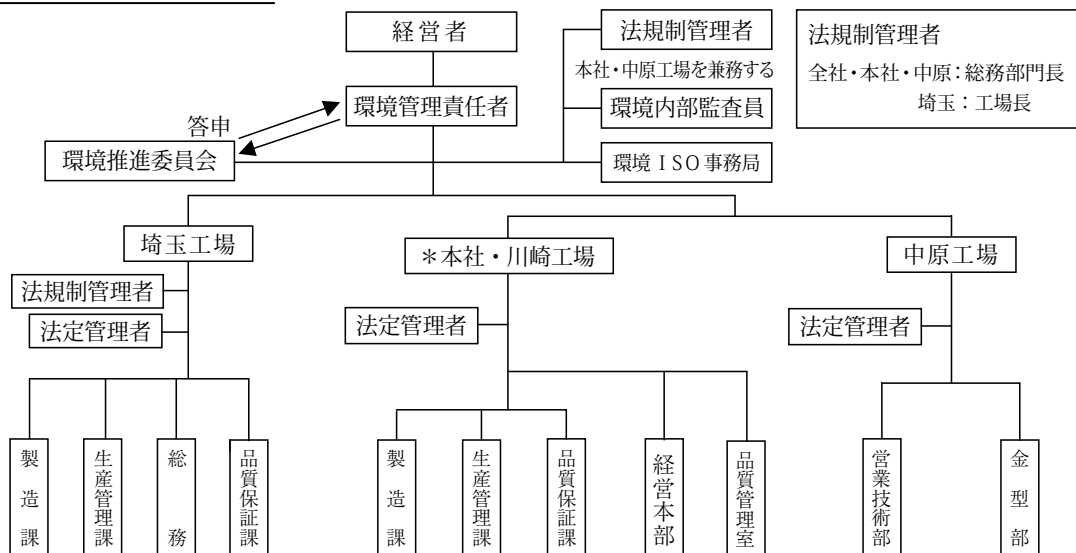
また、当社はISO認証機関を2017年5月にペリージョンソン レジストラーへ変更し2017年10月にISO14001:2015年版で登録いたしました。

登録証番号：C2017 - 02945
 登録日：2017年 10月11日
 有効期限：2020年 10月10日

5. 環境組織

当社は効果的な環境マネジメントシステムを実施するため、役割、責任、権限を定め組織の概要は環境組織図に定めています。埼玉工場での実施の、プラスチック成形用金型の設計・開発業務が、中原工場に集約されました。

三光ライト工業(株) 環境組織図



6. 環境監査

ISO14001規格の要求事項及び環境マネジメントプログラムの実施状況を確認するため各工場が主催する「環境内部監査」及び外部審査機関による「定期審査」を実施しています。

7. 法規制順守

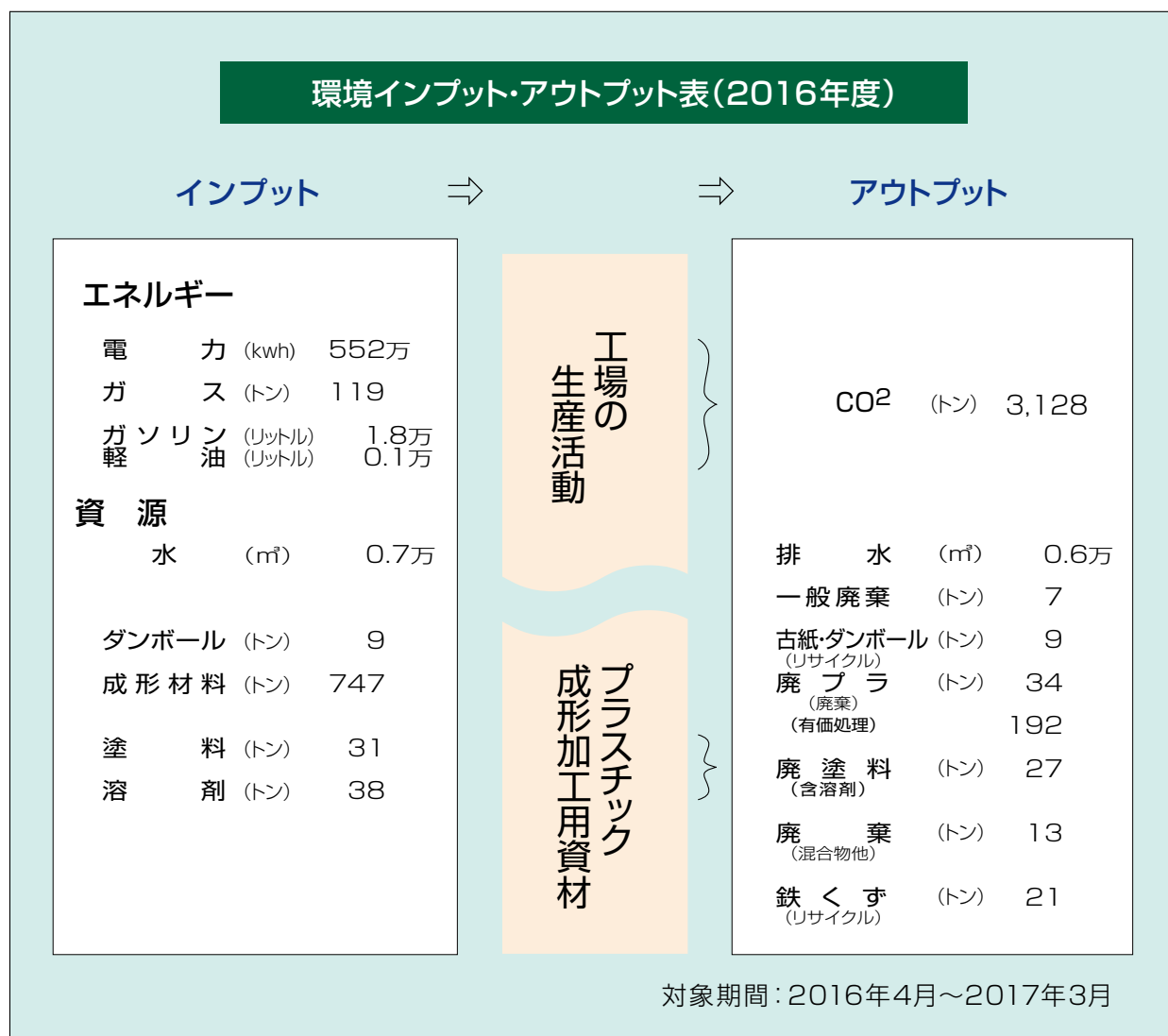
当社は環境に関する法規制について、行政の説明会・インターネット及び文献から当社が適用を受ける法規制を特定し、法規制等要求事項登録表を作成の上この登録表に従って各種届出を行なっています。

エネルギー使用量、廃棄物排出量は月次で実績を集計し、監視しています。化学物質使用量は年次で使用実績を作成し、これを基にPRTR制度対象物質は行政への届出を行っています。

改正省エネ法の施行により、当社は特定事業者の指定を受け、年次で定期報告書等の提出を行っています。また、定期環境測定（騒音、振動、水質、悪臭等）を自主的に実施して法規制順守を確実にこなしています。

8. 環境負荷マスマランス

当社の生産活動の中で使用するエネルギー、天然資源そして工場から排出される廃棄物量を示したものが環境インプット・アウトプット表です。この表によりマスマランスを把握し、これらの環境負荷低減に向けた施策の展開に活用しています。



工場から排出される廃棄物は、再資源あるいは燃料として有効にリサイクル利用されています。総リサイクルは、約82%でした。プラスチック及びシンナーの再利用に継続して取り組みます。

9. 環境活動結果 (2016年8月～2017年7月)

(目標結果は原単位)

	項 目	目 的	目 標 値	結 果
1	エネルギーの削減	(1) 電力購入量の削減	2015年度実績比	
			3%削減	-13.1%
				目標未達成
2	天然資源の保護 (廃棄物削減)	(2) プラスチック	2015年度実績比	
		廃棄量の削減	3%削減	-10.1%
				目標未達成
		(3) 塗料・溶剤	2015年度実績比	
		使用量の削減	3%削減	1.6%
			目標未達成	

電力、プラスチック、塗料溶剤とも目標未達成でした。

電力購入量は、エアコンを含め設備更新による省エネ効果改善傾向にあったが、埼玉工場下期大幅増産の影響が大きかった。

プラスチックの活動は、川崎工場が大幅に悪化している。埼玉工場応援及び生産数量増加の影響が大きかった。

塗料溶剤の活動は、未達成だが稼働率が上がったことにより使用ロスが減少している。

2017年度は既存技術の高度化により不良廃棄率の改善、生産効率の向上を図り、原材料使用量の抑制に引き続き努めます。

項 目	活 動 結 果		
	2014年度	2015年度	2016年度
電力購入量(kwh)	449万	485万	552万
プラスチック排出量(トン)	217	184	288
塗料溶剤使用量(トン)	37	44	60
総排出量(トン)	279	242	302
リサイクル率	87.0%	81.6%	81.6%
CO ² 排出量(トン)	2,604	2,692	3,128

目標管理項目及びその他の活動結果の絶対量を表したものです。

電力量は、大幅増加しました。埼玉工場使用量増加及び全社的な応援体制の影響が大きかった。

プラスチック・塗料溶剤共に、不良廃棄率の改善が使用効率の向上につながるが、稼働率の向上も使用効率の向上につながると考えられるので引き続き重要なテーマとなる。

リサイクル率は、工場によりバラツキが大きかったがトータルでは横ばいだった。

プラスチック、塗料溶剤とも、再利用、有価処理、リサイクルの推進が引き続き重要となる。CO₂排出量は、電力購入量増加により増加しました。

2017年度は、効率良い生産を図り排出量抑制に努めます。

(4) 環境負荷物質管理への対応

当社は、2005年に環境負荷物質管理規程を制定し、この規程に従って環境負荷物質管理体制の維持向上に努めています。

① 新規化学物質管理

新規化学物質検証	1件
----------	----

新規に化学物質を使用する場合、環境・安全面などについて化学物質リスクアセスメントを実施しています。(M) SDS等を取得して、化学物質の安全性、有害性を事前評価し、使用許可された物質のみ購入できるしくみとなっています。

② 製品含有化学物質管理

お客様要求資料の提出	
新 部 品 認 定 時	122件
量 産 部 品 要 求 時	26件
RoHS対象物質分析	52件
紛 争 鉍 物 調 査	4件

お客様から要求された新製品認定時の製品含有化学物質管理も確実に実施し、お客様へ要求資料を100%提出しています。RoHS指令に対して対象物質分析を行い、RoHS適合を保証しています。

紛争鉍物調査依頼に対して調査票を提出しています。

③ REACH規則/JAMA対応

A I S 提 出 件 数	68件
J A M A 提 出 件 数	26件

欧州REACH規則に対応するため、お客様より製品含有化学物質情報の提供が要求されています。当社はJAMP-GPには加入しておりませんが、お客様の構築したWebシステムへ加入し、JAMP-AISを提供しています。また、自動車関連部品については、お客様要求によりJAMAシートを提供しています。

④ グリーン調達

2005年より協力会社様へグリーン調達評価を定期的に行っており、環境に配慮した取引先様とお取引をしています。

⑤ PRTR排出量及び移動量

PRTR制度対象物質のうち、2016年度の取扱量が500kg以上の物質は国内3工場合計で1物質、総取扱量は約13トンでした。

化学物質と排出量(2016年度)

kg/年

化 学 物 質	大気への排出	移動量(廃棄物)
エチルベンゼン	0	0
キシレン	0	0
トルエン	7600	5000

(5)人材育成活動

環境活動を実践するためには、全社員が高い環境意識を持って業務を行うことが必要です。

当社では、階層別に環境教育を定期的に行っています。日常的には、消灯の実施、月次ではエアコンフィルターの清掃及び近隣の清掃活動を行っています。

これらの活動を通じて、環境意識の向上及び経費削減を図っています。

(6) 社会貢献活動

・太陽光発電設置

太陽光発電パネルを埼玉工場に2017年3月設置しました。設置容量：49.5kW。

埼玉工場は、大口需要家のためデマンドコントロールを運用し、ピーク電力削減を継続しています。

太陽光発電の運用により、更に使用電力削減を進めてまいります。



・清掃活動

地域社会の一員として、お互いが気持ちよく生活できるように地域単位で積極的に取り組んでいます。

工場周辺の清掃活動は、年次で計画的に実施しています。

・工場見学

地域社会とのコミュニケーションは、信頼性向上に繋がっていくと考え、積極的に取り組んでいます。社会学習の一環として近隣の学生及び業界関係の工場見学を受け入れています。



(7) 緊急時訓練

当社は防災訓練を地区工場毎に年1回実施し緊急時対応の準備を行っています。また工場内には緊急用油液処理キットを設置し油類の流出防止に備えています。防災訓練同様に油液処理の訓練も実施しています。

防災訓練実施状況

本社工場	2017年 6月 1日	実施
中原工場	2017年 5月25日	実施
埼玉工場	2017年12月	実施予定



10. 2017年度の活動目標 (2017年8月~2018年7月)

第62期 経営方針 (2017年8月~2018年7月)

今期はこの方針に従って経営活動を進めてまいります。

第62期 経営方針

1. **コスト競争力の追求**
 - ・歩留改善の徹底
 - ・多能工化推進
2. **技術力強化**
 - ・既存技術の高度化
 - ・新技術への挑戦
3. **受注分野の拡大**
 - ・既存得意先の受注品目拡大
 - ・新分野得意先の開拓

2016年度の達成状況を考慮して、2017年度の年間目標を設定し、この目標達成に向けて環境活動を推進いたします。2008年度より目標値は前年度実績比といたしました。

指 標	項 目	目 的	目 標 値
1 地球温暖化防止	エネルギーの削減	電力購入量削減	2016年度実績比 工場毎設定
2 資源有効利用	天然資源の保護 (廃棄物削減)	プラスチック 廃棄量の削減	2016年度実績比 3%削減
		塗料溶剤 使用量の削減	2016年度実績比 3%削減



三光ライト工業株式会社

〒211-0051 神奈川県川崎市中原区宮内2-29-1
 お問い合わせ先: 経営本部 総務課
 TEL: 044-751-4198 FAX: 044-755-0218
 URL: <http://www.slkco.jp/>